

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,482人
世帯数
3,065世帯
平成29年3月現在

五常っ子の安全を地域で守ろう

「見守り隊に」協力ください

校区内の交差点などで「五常っ子見守り隊」の黄緑色のタスキをかけて、下校してくる五常小学校の児童（五常っ子）に「おかえりなさい」「さよなら」と声をかけているのは、五常っ子の安全に貢献したいと活動している見守り隊のメンバーです。平成18年の2学期にスタートした見守り隊の活動は11年目に入っています。

見守り活動のキッカケは平成16年11月から18年5月にかけて、立て続けに起きた児童が犠牲となる悲惨な事件でした。特に奈良市富雄で起きた事件は、車で30分という近距離で起こったことから、児童や親などの学校関係者のみならず、地域にも動揺がひろがりました。コミュニティ協議会では



「気をつけて帰ってね」「ハイ！ さよなら」

「下校時の子どもたちを地域で見守ろう」と平成18年の2学期から、下校する児童の見守りを始めました。現在は五常小学校PTA（月曜日と水曜日）

と五常校区コミュニティ協議会（火曜日、木曜日、金曜日）が分担して見守り活動を実施しています。

五常校区コミュニティ協議会の

見守り隊は地域やPTAからのボランティアのほか、各自治会の防犯担当や民間交通指導員など100名前後のメンバーが、7地点9

カ所で見守りをしています。1回の見守り時間は地点によって異なり60〜90分程度ですが、30〜45分ずつ分担する場合があります。1人が1年間に活動する回数は見守り隊の参加人数により異なりますが、概ね7〜10回程度となっています。

メンバーは通行している皆さんにも挨拶をするように心がけています。枚方第四中学校の生徒さんたちは、元氣な挨拶を返してくれます。挨拶を交わすことによって、地域の皆さんの絆づくりにつながりたいと考えています。元氣な挨拶の輪が広がると、地域の防犯にも役立ちます。

今年度も、多くの皆様に参加していただき、暑い日も寒い日も子どもたちを見守っていただきありがとうございます。



感謝の寄せ書きをいただきました

ました。先日、卒業していく五常っ子から、感謝の言葉を記した寄せ書きをいただきました。ふれあいルームに掲示しています。4月には新一年生が明るい笑顔で、下校してきます。新年度もPTAの皆さんと協力して、見守りを継続していきます。ひとりでも多くの方に参加していただくと、1人あたりの負担が軽くなります。多くの皆様の参加をお待ちしています。よろしくお願いたします。



子ども達の気持ちに感激

震度7の激震や煙中の避難を体験

第14回防災訓練(防災フェスティバル)

五常校区自主防災会と五常校区コミュニティ協議会は3月5日に第14回

防災訓練・防災フェスティバルを開催しました。「早朝に震度6強の地震発生」を想定し、300人以上の皆さんが自治会長を先頭に第一次避難所である五常小学校へ避難し(避難誘導訓練)、五常小学校の運動場における初期消火や応急搬送などを体験する訓練を行いました。今回も伏見枚方市長が激励に



伏見市長から激励の言葉

来てくださり、訓練の様子を視察されました。

今回の訓練の目玉は、煙の中を避難する煙道体験と震度7などの激しい揺れの体験でした。煙道体験では2〜4人1組で煙が充満している特設テントに入り視界不良のなかを姿勢を低くして出口に向かうのですが、参加者からは「想像以上に怖かった」とか「煙の恐ろしさが実感できた」などの感想が



「意外と重いね」、「タンカで運ぶのって難しいわ」



震度7は強烈、机の下への避難もママなりません

聞かれました。煙の怖さをあらかじめ知っていると、いざという時にキット役立つと感じました。激震体験では震度7や東日本大地震再現に挑戦する参加者もあり、揺れの怖さや家具固定の重要性などを学びました。
地震を防ぐことはできませんが、被害を少なくすることは準備次第で可能です。年に一度は防災訓練を体験しておくことが、緊急時にも落ち着いて行動するためにも極めて重要なのです。今回参加できなかった方も市などが行う防災訓練や研修には積極的に参加しましょう。



消火器に初めて触ります 頑張ってやってごらん



大丈夫？ 煙がすごくて、怖かった！

我が家の防災対策を確認しましょう

阪神・淡路大震災では、犠牲者の83%が家屋の倒壊や家具類の転倒による窒息死・圧死であり、87%の人が自宅で亡くなりました。地震対策で、最優先で考えるべきことは「我が家で死なない、大怪我をしない」ことです。我が家を安全な空間にすることは自分自身・家族・財産を守る備えを行いましょう。

我が家を安全な空間に

◎家具の転倒防止

家具が地震の時に倒れないように固定したり、高い所から物が落ちてこないようにすることは、命を守るための



食器が飛び出してくる！

最低限できる対策でしょう。「固定の仕方が分からない」とか「家具に傷をつけたくない」と言う方もおられます。自分や家族の命がかかっているのですから、分からなければ分かる人（市役所など専門家）に聞けばよいのです。大切な家具に傷を付けたくない気持ちも分かりますが、命とどちらが大切なのでしょう？

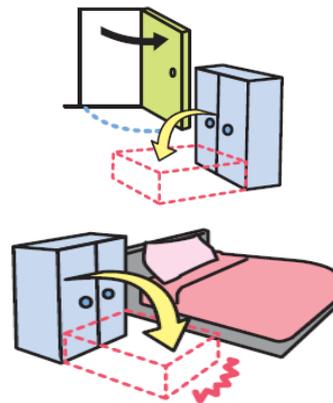
家具の転倒防止のために、すぐに来る事は、重いものを下に置き、新聞紙等を家具と床との間の手前の方にはさむことで、重心を下げることで（これだけでは不十分で、固定することが確実です）。

◎家具の配置で安全を

「寝室に家具を置くな」とはよく言われています。確かに、寝ている所に倒れてくるような家具は置かないことが大切ですが、1m程度の背の低い家具は、天井などが落ちてきたときに、生き延びるための空間を作ってくれる可

能性が高いとも考えられています。寝室の状況に応じて検討しましょう。

また、倒れたら部屋の出入口を塞ぐことになる位置にある家具は移動しておくことも必要です



家具が倒れた時を考えて置きましょう

家族間の連絡方法や避難場所を確認

◎避難場所を確認

地震はいつ起こるか分かりませんが、家族がバラバラの場所で被災しても「あそこに行けば必ず家族がいる、あそこには逃げているはず」という信頼感があれば、いざと言う時に迷わず行動できます。そのためにも家族の間で、万一の場合の避難場所等について繰り返し話し合っておくことが大切です。

災害発生時には電話がかかりにくくなる状況になります。遠隔地の親戚や知人を安全確認の連絡先にしておくこ



とも工夫の一つです。被災地への電話がつながりにくくなった場合には「災害伝言ダイヤル171」（忘れてイナイ（171）と覚える）が提供されます。毎月1日と15日など体験利用日も設定されています。詳しくはNITのホームページ等で確認してください。

地震の心得八か条（千葉県防災ポータルサイト）

1. 耐震化 家具を固定し ひと安心
2. 自宅にも 勤務先にも 水食料
3. 日ごろから 家族で確認 避難場所
4. あ！地震 まず身の安全 つぎ消火
5. 助け合い 隣近所で 救出救護
6. 落ち着いて むやみに動かず 情報把握
7. 171 伝言板で 安否確認
8. 避難前 ガス栓・ブレーカー 確かめろ



今年も多くの皆さんが「とんど祭り」を楽しみました

燃え上がる「とんど」に 平穏と幸せを祈る

五常の四季を楽しむ冬の行事、第27回とんど祭りを1月15日に開催し、参加者は威勢よく燃え上がるとんどに「新しい年の願い」を託しました。

とんど祭りは、「どんど」「どんど焼」「左義長」などと呼ばれている伝統行事で、しめ飾り、門松、書き初めなどを持ち寄って焼き、一年の無病息災を祈願する祭りです。五常校区では防犯協議会など地域の組織によってはじめてされましたが、現在は五常校区コミュニティ協議会が各自治会の協力を得て開催しています。

時々雪が舞う天気でしたが、五常太鼓の演奏で開幕する頃には晴れ上がり、参加者には、焼き芋、ぜんざい、豚汁を、大人には御神酒も振る舞われ、大勢の家族連れがこれを楽しみました。バルーンアートは今年も子どもに大人気でした。

各自自治会等から選出された実行委員やボランティアの皆さんには前日の竹の伐採、振る舞いの準備、当日早朝からとんど櫓（やぐら）の設置などに奮闘していただきました。感謝申し上げます。

櫓の竹が燃えて破裂する音や、舞い上がった藁の燃えかすが住居に落ちるなど、近隣の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。地域の人々の繋がりをつくる伝統行事はすたれつつありますが、とんど祭りを今後も続けて行きたい、皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

「卒業おめでとう」の

おもちつき

コミュニティ協議会では6年生の卒業を祝って「紅白のお餅」をつき、贈っています。今年は2月16日に当協議会の呼びかけに応じて参集していただいた皆さんの協力により、1斗のお餅をつき、紅白の餡餅をまるめました。餅つき機の普及により、「臼と杵を使った餅つき」を経験した参加者が年々少なくなりましたが、なんとか、児童の眼前で2斗のお餅をつくことができました。五常小学校を巣立つ6年生が立派な中学生になってくれるよう、心から声援をおくりたい。頑張れ！



臼と杵を使うお餅つきに興味しんしん

以楽公園の開放

五常小学校の南側の以楽公園は著名な造園家の重森三玲氏が造った回遊式の庭園です。毎年春と秋に一般開放されています。

今春は3月24日(金)～4月7日(金) 午前10時から午後4時です。五常校区では、以楽公園の他、淀見公園、香里ヶ丘西公園などでもお花見を楽しめます。

煙突山の桜祭り

第8回煙突山桜祭りを開催します。

- ・平成29年4月2日(日)
- ・午前10時から午後3時まで
- ・枚方市上下水道局妙見山配水池(通称…エントツ山)

配水池は重要な水道施設であることから、法令で衛生上の特別の配慮が求められており、ペットの入場は禁止されています。

妙見山煙突は枚方市の戦争遺跡に指定され、当日は枚方市人権政策室の見学会が同時開催されます。